

異分野基礎科学研究所の設置による基礎科学研究の飛躍的発展と大学機構改革（全体像）

ミッションの再定義により明らかになった強みを学長の強いリーダーシップにより更に強化するため研究基盤を構造改革し、世界トップを狙う！
 設置理念：岡山大学における基礎科学研究推進のために、世界との直接の結びつきを強め研究者の研究能力を最大限に発揮する卓越した研究イノベーション拠点を形成し、従来の学問体系の枠に留まらない新しい学問分野を創出するとともに新分野を切り開く人材を育成する。

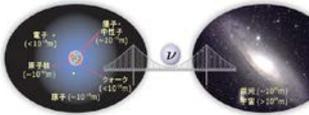
岡山大学の強み 物理学と基礎生物学

評価指標 (2010-2015) (3コア)
 トムソンロイタートップ1%コア論文数 37
 インパクトファクター9.5以上の論文数 27
 国際共著論文数117 (他 LHC 358/CDF 173)
 Nature・Science 7
 知的財産の実用化・成立特許数 16 (2015年6月現在)

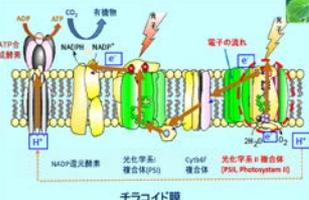
数々の実績がある世界トップレベルの主軸となる3研究コアグループ

先端的な成果を武器に**国際共同研究拠点**を形成し、世界と勝負する **世界唯一**

量子宇宙・ニュートリノ研究
 原子物理学の手法によるニュートリノ研究 **世界TOP**



光合成ー構造生物学
 光合成活性中心構造解明で世界評価を得る **世界TOPレベル**



超伝導材料・デバイス
 超伝導材料研究で厚い研究者層

平成27年度 世界トップ シニア研究者 秋光純教授招聘



岡山大学附属異分野基礎科学研究所設置

岡山大学の基礎科学研究力を世界トップに飛躍させる基礎科学研究分野における異分野融合国際研究拠点 **(最先端分野が結集し新たなイノベーションを起こし、大学の研究力を強化する。)**

強化

基礎科学3分野の飛躍的な発展をテコにした大学の研究力の強化 ー研究基盤構造改革の戦略ー

- ①海外トップ研究ユニット誘致
- ②世界トップレベルの大学・研究所と国際共同研究の推進
- ③資源（ひと）再配分により専任教員体制を強化（退職ポストの振替による人員循環）
- ④人事給与システム改革：構成員を原則年俸制とし、業績評価による給与システム・インセンティブ付与。混合給与制導入
- ⑤若手研究者の滞在型・派遣型国際連携システム
- ⑥次世代若手研究者を国際公募で採用し、グローバルテニューアトラックにて組織的に育成

基礎科学3分野において世界をリード「岡山大の物理学・基礎生物学分野」の世界トップ100位入りに貢献

評価指標 (2016-2021) (研究所)
 トムソンロイタートップ1%に入るコア論文数 40
 インパクトファクター9.5以上の論文数 70
 国際共著論文数 250 (他 LHC/CDF 等)
 Nature・Science 7
 知的財産の実用化・成立特許数 30

【期待される効果・目標】

【 Global 】
 ・国際研究拠点形成
 ・世界と直接つながる

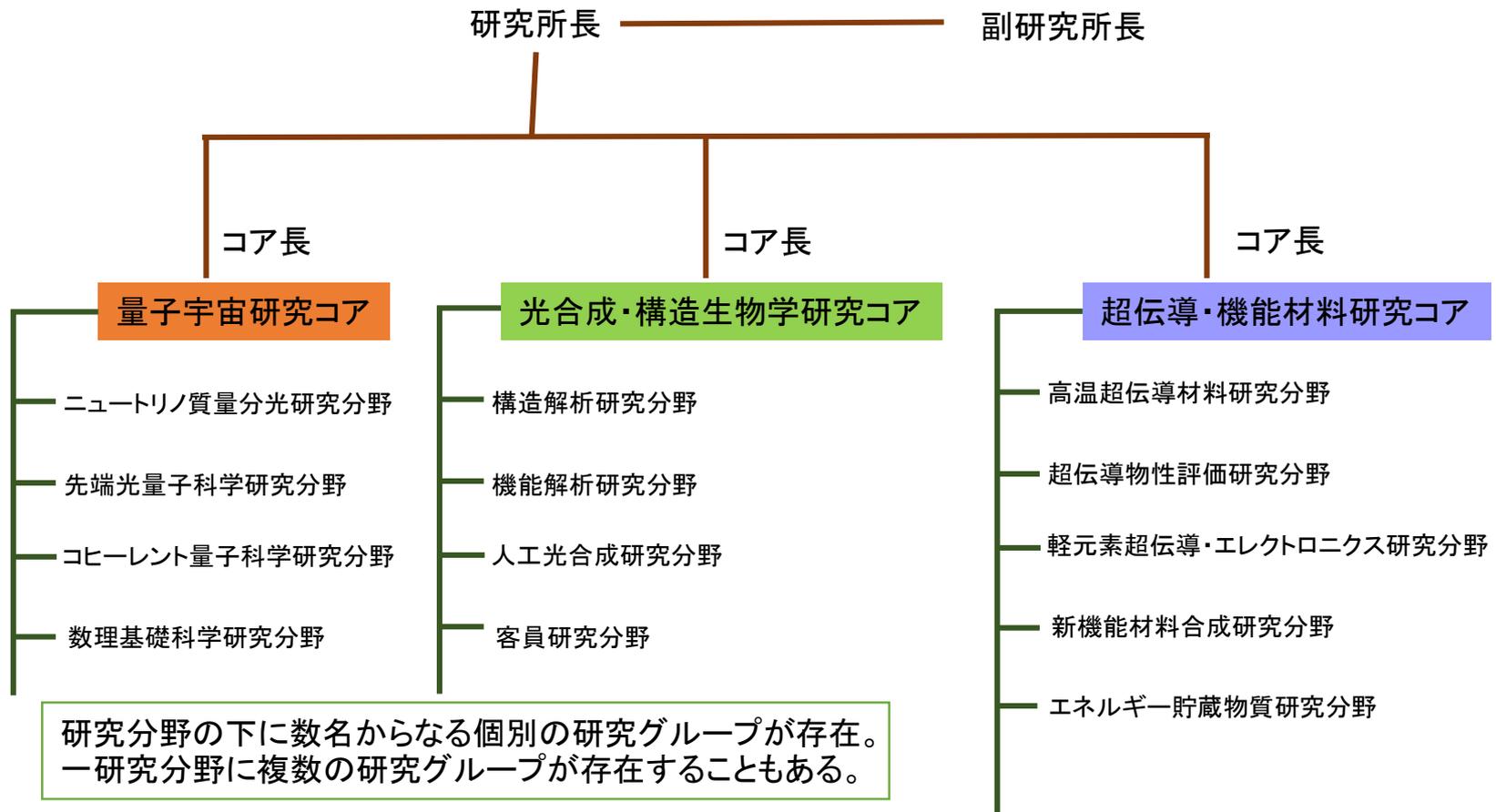
【 Research 】
 ・新研究分野創出
 ・融合研究創出

【 Education 】
 ・最先端研究と直結した新専攻の設置
 ・国際的に活躍する人材育成

【 Personnel 】
 ・研究成果による組織入れ替え「よどみ」をなくす

世界を間近に意識し、世界と勝負できる研究所の形成

異分野基礎科学研究所内の組織（研究遂行体制）



研究分野の下に数名からなる個別の研究グループが存在。
一研究分野に複数の研究グループが存在することもある。